

日本、強豪ドイツ撃破

サッカーW杯カタール大会初戦



日本ードイツ 後半、勝ち越しのゴールを決める浅野 (中央) =23日、ドーハ (時事)

2-1 堂安・浅野連続弾で逆転

【ドーハ共同】サッカーのワールドカップ(W杯)カタール大会第4日は23日、ドーハのハリファ国際競技場などで1次リーグが行われ、E組の初戦で世界ランキング24位の日本が、同11位で優勝4度の強豪ドイツを2-1で破る金星を挙げた。GK権田修一(清水)の反則からのPKで先制を許し、前半を0-1で折り返したが、後半に堂安律(フライブルク)、浅野拓磨(ポーフム)のゴールで逆転。大舞台で番狂わせを演じる最高のスタートを切った。

ドイツからは初勝利で、通算成績は1勝1分け1敗。W杯で優勝経験国と対戦するのは3度目で、初めて勝った。

森保一監督が率いる日本は7大会連続7度目の出場で、海外のクラブに所属する選手は史上最多の19人。1993年に日本がW杯初出場を逃した「ドーハの悲劇」の舞台で、過去最高を上回るベスト8以上を目指す。

日本は27日午後1時(日本時間27日午後7時)からコスタリカ、12月1日午後10時(同2日午前4時)からスペインと対戦する。